

障害のある子どもの暮らしを支える



子育て支援課では、障害のある子どもや発達に心配のある子どもとその家族を対象とした、取り組みを実施しています。

問い合わせ 子育て支援課（東8南13、保健福祉センター内、☎25・9700）

子育て支援課にて無料で配布しています。

1 医療的ケア児の相談窓口

「医療的ケア児」ってなあに？

医療的ケア児とは「身体の機能に障害があり、呼吸や栄養摂取、排せつなどに、日常的な医療的ケアを必要とする子ども」のことです。

家族などが人工呼吸器の管理や痰の吸引、在宅酸素療法、導尿などの医療的ケアを、自宅などで日常的に行う必要があります。

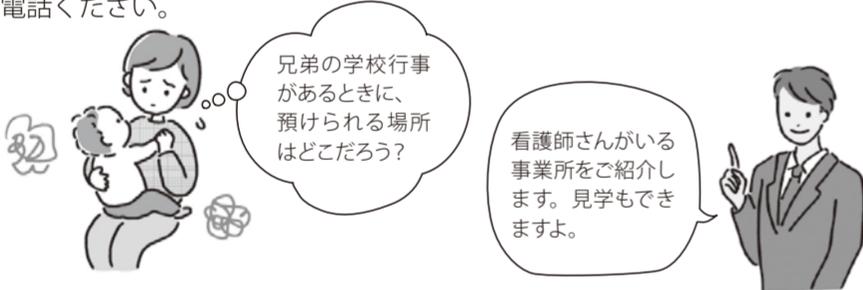
近年、医学の進歩を背景に医療的ケアを必要とする子どもが増えています。

医療的ケア児の相談窓口は子育て支援課です

生活の中で困っている事はありませんか？

窓口では、必要な情報の提供や関係機関との連絡調整を行います。また、医療的ケアはないが身体障害や知的障害のある子どもの相談も受け付けています。

電話や来所による相談、家庭訪問も実施していますので、まずは一度お電話ください。



2 子どもの発達を記録する「つなぐっと」

「つなぐっと」ってなあに？

「つなぐっと」は障害や発達に心配のある子どもを支えるため、保護者が子どもの健康状態や成長、生活の様子、通院・通所履歴などを記録し、周りの人たちと子どもの状況を共有するサポートファイルです。

市ホームページID.1004632



保育所や学校に通い始める時などに役立ちます

子どもが新たに保育所や学校などに通い始める時は、保護者から障害や発達について詳しく説明し、理解してもらうことが大切です。何を伝えたらいいか迷う時も、「つなぐっと」があると、子どもの様子を正確に伝えることができます。

成長に合わせてページを足したり、他の資料と一緒につづることも可能です。

利用者から、こんな声が寄せられています

- 経過を書いておけば、忘れなくて済む
- 療育先や医療機関などの資料は、つなぐっとと一緒につづると保管しやすい

「つなぐっと」書き方説明会を開催します

専門スタッフが一緒に記入のお手伝いをします。申し込みは、2月1日(木)までに電話で子育て支援課へ。日時 2月8日(水)、10時～11時 場所 保健福祉センター



子どもをさまざまな危険から守る

青少年センターでは、不良行為や問題行動を早期発見し、非行の未然防止やネットトラブルなどに巻き込まれないよう、街頭巡回や啓発活動を行っています。

問い合わせ 学校地域連携課青少年センター（市庁舎8階、☎65・4161）

青少年の行動を見守る、街頭巡回指導の現状

中心街や郊外の商業施設などで、令和4年4月から10月の間に、234回の巡回指導、293人の青少年に声掛け指導を行いました。(図)

約7割を占める交通マナー指導の多くが、自転車の走行中にスマートフォンを操作する「ながらスマホ」やイヤホンを装着して自転車を走行する、交通ルールへの指導でした。

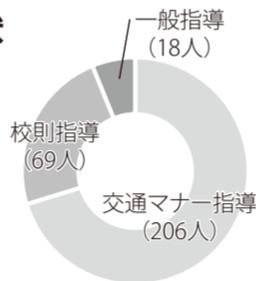


図 街頭巡回指導の状況



危険！「ながらスマホ」やイヤホン装着

自転車走行中の「ながらスマホ」は、片手運転となりハンドル操作が不安定になるほか、画面を注視することで周囲の危険に気付くのが遅れ、重大な事故につながる恐れがあります。また、音楽を聴きながらの走行も、周囲の音が聞こえづらくなり大変危険です。巡回指導では、事故を未然に防止するため、今後も継続して指導啓発を行っていきます。

の音が聞こえづらくなり大変危険です。巡回指導では、事故を未然に防止するため、今後も継続して指導啓発を行っていきます。

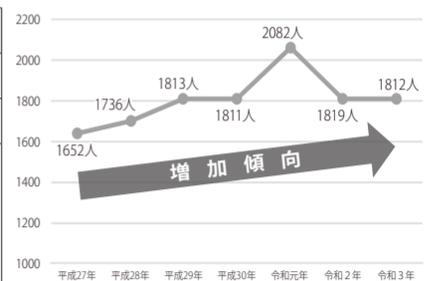
インターネット利用に伴うトラブル

青少年によるインターネットの利用時間が年々増加する中、SNSなどに起因する犯罪被害が懸念されています。

中でも、児童ポルノや児童買春などの性被害のトラブルに巻き込まれる被害児童生徒数が増加傾向にあります。

令和3年度青少年のインターネット利用状況 SNSに起因する事犯の子どもの被害者数

	小学生	中学生	高校生
利用率	96.0%	98.2%	99.2%
利用時間/日	207分	259分	331分
利用内容	全年代で動画視聴、音楽視聴、情報検索、ゲーム、投稿やメッセージ交換が多い。利用時間は年齢とともに増加傾向。		



出典：青少年のインターネット利用環境実態調査（内閣府）

出典：少年非行、児童虐待および子どもの性被害の状況（警察庁）

有害サイトから青少年を守る「フィルタリング」を使っていますか？

フィルタリングは、危険なインターネットサイトの閲覧やアプリの利用などを制限できる機能です。

「アプリが使えない」「見たいサイトにつながらない」といった理由から、フィルタリングの設定をためらうケースが多くありますが、年齢別の設定や、使いたいアプリだけを利用できるようにするなど、状況に合わせて安全安心な利用ができるので、携帯電話販売店に相談してフィルタリングを設定することをお勧めします。



「子ども110番の家」の登録にご協力を

登下校時などの際、子どもの身に危険が迫った時に駆け込む場所が「子ども110番の家」です。逃げ込んだ子どもを保護し、110番通報や、保護者へ連絡するなどして、犯罪被害を未然に防止します。

地域の子どもたちが、安心して登下校できるよう、皆さんのご協力をお願いします。